

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスNEST			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 25日 ～ 令和7年 3月 7日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 25日 ～ 令和7年 3月 7日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 21日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動やスポーツを中心とした集団療育を行い、運動機能や身体動作の向上だけでなくSST(ソーシャルスキルトレーニング)の向上を図っている。	成功することが目的ではなく、成功するまでの過程に重きを置き、成功するためにはどうしたらいいのか。成功できるように失敗を恐れるチャレンジしてみるといった姿勢を意識的に行っています。 プログラムは児童たちに『ねらい』として意識してほしいことを伝えていきます。 スポーツにはルールが必ずあったり、チーム戦であればコミュニケーションが大切になります。指導員がついて一緒にプログラムに取り組みます。	運動だけではなく脳トレも同時に行える、ライフキネティックのトレーニング要素を入れながら参加する児童が楽しくかつ学びとなるように取り組んでいく。 運動やスポーツは楽しいものだ伝えたい。失敗してもいいんだよ。というところから自己肯定感が育まれる取り組んでいく。
2	学校休業日は工作や調理プログラムの他、野外活動にも積極的に出掛けている。	季節の野菜など季節を感じられる料理を作ったり、季節ものの工作物を作っています。土曜日は隔週で外出しており公園や動物園などに出掛けています。ご利用者限定公開でInstagramで活動風景を配信しています。	日常では体験できない、NESTでしか体験できない特別な行事にも企画・参加していく。
3	相談支援事業所と併設しており地域の社会福祉サービスなどとの情報交換スムーズにできる。	放課後等デイサービスだけで地域との交流や情報収集するのは難しいと感じている。併設している相談支援事業所の相談支援専門員の力を借りて地域の情報を共有してもらっている。それを保護者にお伝えしている。	この地域で有意義に生活していくための情報をご利用者様に情報を発信できるように引き続き取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の交流する機会を設けられない。	感染症(コロナ)の流行等により開催がなくなり再開ができていない。	感染症など開催にあたっては配慮しながら、親子参加型のイベントを企画、実行していく。 地域住民にも参加を促したい。
2	保護者様への災害時の対応やマニュアルの周知が出来ない。	職員の閲覧しやすさや、利用児が来所された際のリスクを考え設置していた。	利用児の目が届きにくく保護者の方が手に取りやすい場所を作りマニュアルの設置場所にする。

3	事業所と保護者様との連絡ツールに課題を感じている。	メール、電話、連絡帳と今は複数の連絡ツールを使用している。共有の漏れなど管理に課題がある。	公式LINEを開設し、連絡ツールを一本化し管理を簡易化するよう取り組んでいく。
---	---------------------------	---	---